令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会

アフリカにおける内視鏡トレーニング拠点の設立（令和6～7年度）

セネガル、ケニアでの活動 ご報告

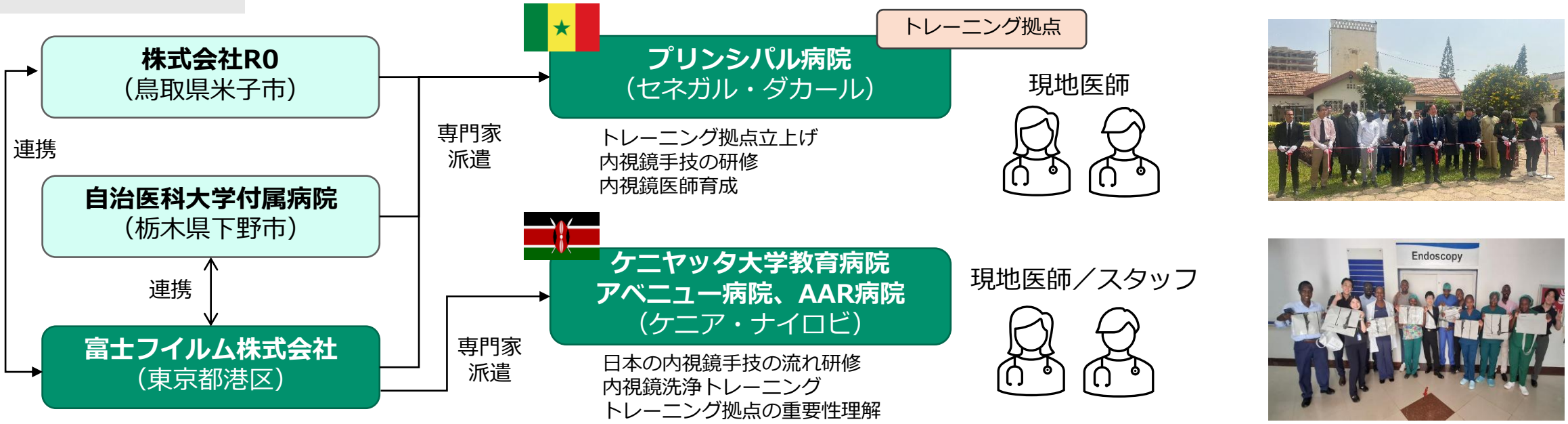
2026年10月7日

富士フイルム株式会社
メディカルシステム事業部 内視鏡システム部／熊谷

FUJIFILM
Value from Innovation

実施体制と活動概要

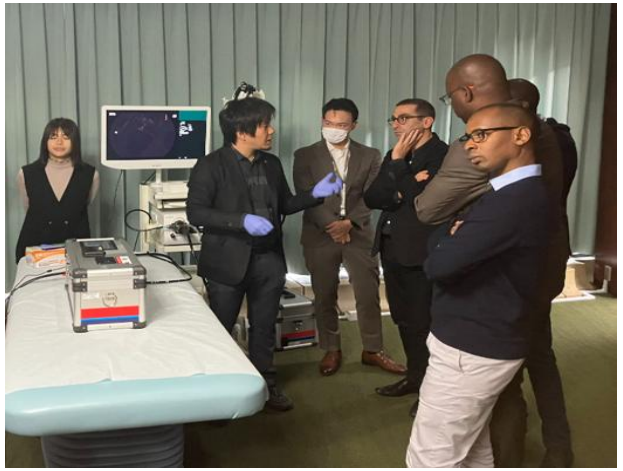
実施体制



- 実施国／期間：セネガル（令和6年度～7年度）、ケニア（令和7年度）
- ニーズ／課題：消化器がん患者数に対する軟性内視鏡医師（診断・処置ができる）・スタッフ（取り扱いができる）の不足
- 実施事項：
  - ・セネガル医師団の来日／研修
  - ・セネガルにおけるトレーニング拠点立上げ、内視鏡手技研修
  - ・ケニアにおける現地医師／スタッフ向け内視鏡機材取り扱いトレーニング

活動内容

①内視鏡診療技術



セネガル医師団 来日研修

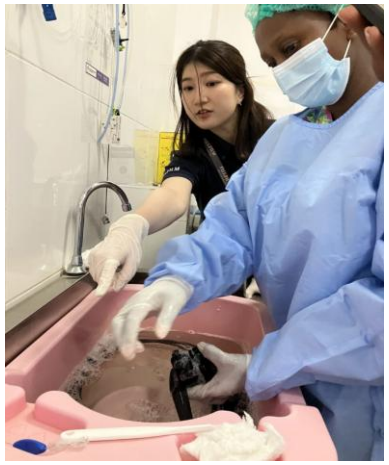


現地での手技トレーニング（セネガル）

②内視鏡診療サービスを支える技術やシステム

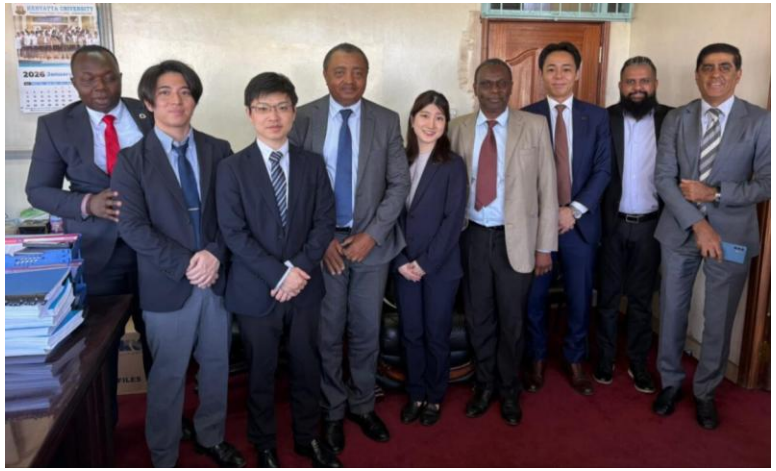


内視鏡ワークフロー勉強会（ケニア）



内視鏡取り扱い／洗浄トレーニング（ケニア）

③現地で製品が普及するための制度やシステム



保健省と医療制度に関する意見交換（ケニア）



TICAD9でのMOU披露

課題）内視鏡診療をより多くの新興国で普及させるために…

課題		To Do
ヒト	内視鏡医/スタッフの教育	KOL医師・学会へのトレーニング、適正機器取り扱い啓蒙・・
モノ	サービス体制構築	サービス拠点設立・拡大・保守契約設計、スタッフ教育・・
	現地に最適な提案の提供	ローエンドモデル／中古機ビジネス等への対応（性能・価格帯等のニーズ・市場調査、開発・・）、ファイナンシャルソリューションの提供等
カネ	保険/検診等の制度設計	保険収載や検診政策の推進に向けた現地学会/政府へのアプローチ
	ODA/政府予算獲得等	ニーズ喚起、プロセス理解、現地パートナー探索・・

それぞれの課題

現地
- ✓ 医師/スタッフ：消化器疾患診療のための内視鏡関連リソース不足
- ✓ 政府/学会：制度設計・運用

✖

日本
- ✓ 内視鏡医療技術・機材の他国に対する優位性確保
- ✓ 外交施策

✖

企業
- ✓ 機材開発
- ✓ サービス体制構築
- ✓ スタッフ教育提供

- ✓ メーカーとして、機材の開発・改善、効果的なサービス・教育メニューの構築を継続していく。
- ✓ 一方で、新興国の体制構築、制度設計のためには政府間連携や財政支援も必要な状況であり、官民連携し取り組んでいきたい

内視鏡診療を普及させる土台作りからサポートし、日本の技術優位性を継続する

FUJIFILM

Value from Innovation